MJかけはし

Makabe Ishikai
Junkango Gakuin

永年の歴史を紡ぐ、伝統ある学院
准看護師資格試験の高い合格率 10年連続100%合格を達成

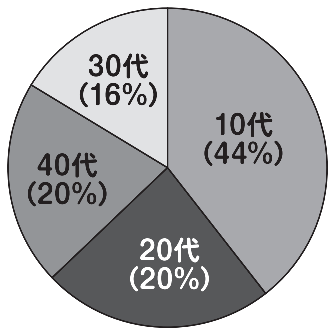
幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍

平成31年度志願者概況

真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2223名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する結城市・古河市・常総市などの県西地域全般に及んでおり、つくば市・笠間市・水戸市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

平成31年度志願者の年代別占有率



少子化や不透明な経済状況の影響など、社会の構造的要因も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は約6割と高くなっています。

社会人経験者のキャリア

- 医療関連施設でヘルパーとして従事していた人
- 介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人
- 保育園・幼稚園教諭等の異業種から資格取得を目指す人

新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

医療機関、介護・福祉施設に所属して学ぶ

入学者の多くは、医療機関や介護・福祉系の施設を始めとして、通学可能な範囲の施設などに所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関や施設等で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

各種給付金等を活用して経済的負担を軽減

県・市町村・公共職業安定所(ハローワーク)等の定める各種修学資金、支援金等があり、条件が合えば在学時の経済的負担の軽減策の一つとして、これらの制度を活用することも可能です。

卒業後の進路

卒業後の進路は、所属する病・医院等へ就職する生徒が約70%、正看等の看護学校への進学者が約30%となっており、自分自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

高齢化社会の進展する今、看護の道を選ぶこと

人間は加齢するにあたって様々なリスクが高まり、病気や怪我をしてしまった際には、医療施設で適切な治療を受けなければなりません。高齢者が増えればそれに比例して医療の現場に携わる人達も増えなければなりません。しかし、現状で既に浮き彫りになっているのが医師や看護師の不足・偏在問題で、今後さらに高齢化社会が進むにつれて、この問題が顕在化することが予想されます。

平成30年10月に2つの中核病院が開院した中、この県西地域においても、今なお慢性的な看護職者不足が解消されておりません。

少子・高齢化の進展する今、看護職者の活躍するフィールドが大きく広がっています。

当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。

是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。

奨学金・給付金を活用して資格取得へ

当学院の生徒の中でも、経済的な不安を抱える人は少なくありません。当学院ではその不安を解消し、経済的負担を軽減する為の奨学金・給付金制度を紹介しています。実際の各種奨学金・給付金の活用例を参考にして下さい。

地元病院でヘルパー(看護助手)として勤務中の鶴田さん(10代)

当学院まで30分程度で通える病院でヘルパー(看護助手)として働きながら、勤務先からの奨学金・給付収入を得ながら通学。

＊勤務先の病院からの奨学金例(病院ごとに金額は異なる)

入学時諸経費の一部、及び授業料を奨学金として給付

入学時諸経費【女性の場合】205,000円の内、161,000円・授業料など408,000円を奨学金として受給

＊給与収入 月額50,000円〜80,000円程度(施設ごとに異なる)

看護職への転職を目指し一般企業を退職した亀田さん(40代)

長年勤務した会社を退職し、ハローワークに相談。当学院が厚生労働大臣指定専門実践教育訓練講座指定の学校であることを知り、給付を受け、経済的問題をクリアし、学業と家庭の両立に専念。

1	茨城県看護師等修学資金	252,000円
3-1	専門実践教育訓練給付	163,000円
3-2	※教育訓練支援給付金	180,000円(月額)

※前年度所得による

子育て中のシングルマザー喜多さん(20代)

事業所で働いていたが、将来を見据え看護職者として地元病・医院で働くことを希望。学業と子育てを優先し、仕事をせずに行政所管で返済免除の給付金を活用。

1	茨城県看護師等修学資金	252,000円
2	高等職業訓練促進給付金	1,200,000円
3-1	専門実践教育訓練給付	163,000円
3-2	※教育訓練支援給付金	340,000円

※前年度所得による

高等学校中退で独身の徳川さん(30代)

入学前に、学院へ入学相談に行った際に、茨城県私立高等学校等就学支援金制度を利用できることを知り、家族の理解を得て、念願だった看護の道への進学を決意。

1	茨城県看護師等修学資金	252,000円
4-1	茨城県私立高等学校等就学支援金	276,000円
4-2	※茨城県私立高等学校等奨学給付金	98,500円

※前年度所得による

各奨学金・給付金の詳細はこちら

1 茨城県看護師等修学資金

卒業後、准看護師免許を取得し、茨城県内の看護師不足地域にある医療機関などに、看護職員としての業務に従事しようとする方。(看護師不足地域に5年間継続して看護業務に従事した場合、返還は免除)

年4回支給 月額21,000円

2 高等職業訓練促進給付金

- 母子家庭・父子家庭の方
- 児童(20歳未満)を扶養している

毎月支給 市町村民税 非課税世帯 月額100,000円 市町村民税 課税世帯 月額70,500円

3-1 専門実践教育訓練給付

- 2年以上雇用保険の被保険者
- 退職日より1年以内である
- 前回給付を受けている人は3年以上空ける必要がある

受講費用の50%(上限：年間40万円)年2回支給 ※所属施設で負担の場合は申請不可

※受講費用(入学金・授業料) 1年次 年額163,000円 2年次 年額138,000円

上記条件を満たす。尚且つ専門実践教育訓練を受講する、45歳未満の離職者の方 ＋ 3-2 教育訓練支援給付金 失業保険基本手当額の80%支給

4-1 茨城県私立高等学校等就学支援金

- 高等学校等を卒業していない方
- 上限36ヶ月(高等学校などに在籍していた期間を除く)
- 返還は不要 ※支援金額は所得に応じ決定。毎年7月頃に所得情報更新の為改めて受給資格の確認あり。

年4回支給 月額9,900円〜23,000円

上記条件を満たす。尚且つ非課税世帯の方 ＋ 4-2 茨城県私立高等学校等奨学給付金 年1回支給 年額98,500円

医療機関・介護施設で働きながら学ぶ場合

所属する医療機関・介護施設での奨学金制度もある為、上記の給付金・奨学金に加えて、所属する病院あるいは介護施設からの奨学金を利用しながら学ぶ生徒も多数在籍しています。(条件・給付額等は所属先による)

真壁医師会准看護学院 学費について

授業料	年額276,000円
教材費	年額12,000円
実習費	年額24,000円
PTA会費	年額48,000円
クラス費・駐車場代	年額48,000円

計408,000円

※前年度参考

MJ

Makabe Ishikai
Junkango Gakuin

有資格者として夢の第一歩を

男女共学、主婦、社会人歓迎の開かれた学院

看護職を目指す当学院の生徒たちは、年齢層も様々、社会的背景（境遇）も異なりますが、夢に向かい、同じ志を持つ者として日々助けあいながら資格取得に励んでいます。未来の地域医療を担う彼らは、不安を抱えながらも互いに励ましあい、精神的にも経済的にも充実したサポートのもと、一歩一歩、確実に歩みを進めています。

看護職は多くの方から期待され、信頼されるやりがいのある仕事です。志を同じくする仲間とともに、当学院で夢の第一歩を踏み出してください。

子どもとの時間も大切にできる環境を

63回生
稲田 沙也加 さん
所属：大圃病院

Q 当学院を選んだ理由を教えてください

A 私には4歳と6歳の子どもがいるのですが、仕事を探していた際、子育てをしながら条件良く働けるところが少ない現状を目の当たりにしました。そこで、やはり資格を持っているということが強みになるということを痛感しました。この学校は働きながら資格を取ることができるので、仕事との両立が可能だと思い入学を希望しました。

Q 学業と仕事、子育ての両立はどのようにされていますか

A 子どもがまだ小さいので、病児保育を行ってくれる託児所がある大圃病院で働きながら、なるべく学校を休まないようにして学習面に取り組んでいます。経済面においても、奨学金や修学金、給付金などの制度を利用して、学業に専念できるだけの支援もいただいているので、集中して勉強できています。

Q 今後の進路について教えてください

A 子どもたちとの時間も大切にしたいので、今勤めている大圃病院で7年間働き、その後は通信制のある看護学校に入学して、看護師の資格を取りたいと思っています。

Q どのような看護職者を目指していますか

A すべての方に対してあたたかく接することのできる看護職者になりたいです。

異業種から看護の道を目指す

63回生
米沢 純子 さん

Q 以前から看護職に興味がありましたか

A いいえ。大型自動車の免許を持っているので前職はトラックの運転手をやっていました。医療に携わることなど考えたこともありませんでした。

Q 当学院を選んだ理由を教えてください

A 3年前、くも膜下出血で倒れて入院したときに、担当の看護師さんから「社会人からでも看護師を目指せる学校がある」と聞いたのがきっかけです。でも入院中は脳に障害が出ていて、字を書くことも、簡単な計算もできず、子どもたちに勉強を教わったりしていました。半年経ったある日、これ以上回復しないといわれました。でも、続けていればいつかできるようになるのではないかと希望を持ちながらリハビリに励んでいました。退院後は小学校3年生くらいの学力だったのですが、毎日計算ドリルなどで勉強をして、学力も上がってきたので、こちらの学校を受験するに至りました。

Q 入学後、変化したことがあればお聞かせください

A 自分と同じような疾患で悩んでいる方がいたら、自分の努力次第で良くなる可能性はあるというのを知ってもらいたいと思うようになりました。

Q 当学院を選んでよかったことを教えてください

A 社会人から看護職を目指す人も多いので、年齢層が幅広く、馴染みやすいのはありがたかったです。それと、学校の奨学金制度の紹介が充実しているので、子どもがいて働いていなくても経済的負担が少なく、学業に専念できているので、そこもありがたいです。

本物の技術を間近で見て学べる

63回生
北野 瑞姫 さん
所属：医療法人 達生堂 城西病院

Q 看護職を目指したきっかけを教えてください

A 祖母が准看護師をしていて、小さい頃から憧れていたことがきっかけです。

Q 当学院を選んでよかったことを教えてください

A 今勤めている城西病院にはここの卒業生がたくさんいるのですが、先輩方がとてもやさしく、丁寧に指導してくださるので働きやすいですし、勤務も楽しいので、この学校を選んでよかったと思います。

Q 病院での勤務はどれぐらいですか

A 火曜日と木曜日は学校があるので病院勤務はお休みして、月水金は8時から勤務、午後から学校、土曜日は1日勤務または午後から学校の場合は午前中勤務、たまに日曜日も勤務があります。

Q 仕事をしながら学校に通うのは大変ですか

A いいえ。とても環境がいいので、大変だとは思いません。城西病院の管理職の方もここの卒業生だということもあり、学校に対しての理解もありますし、尊敬できる先輩方ばかりなので、その技術を間近で見て学べるということはとてもありがたいことだと思っています。仕事と学業の両立については、時間を上手く使って、仕事の休憩時間に学校の課題などをやっておくことで、家に帰って少し時間ができるので、空いた時間に自分の好きなことをしてリフレッシュしています。

介護の現場から見えてきた看護の必要性

63回生
渡部 優菜 さん
所属：介護老人保健施設 つむぎの郷

Q 看護職を目指したきっかけを教えてください

A 私の母が准看護師で、今の私と同じように、仕事をしながら学校に通って看護師を目指していた姿を小さい頃から見てきたことがきっかけです。

Q 当学院を選んだ理由を教えてください

A 介護施設つむぎの郷に就職が決まっていたのですが、看護の道へ進みたいと相談したところ、この学校を勧められました。資格を取るために職場の奨学金制度も利用できるということで、入学を希望しました。

Q 当学院を選んでよかったことを教えてください

A つむぎの郷の先輩方はここの卒業生が多いのですが、先輩方も学校の友達も、大なり小なり悩みを抱えながらそれを乗り越えてきているので、こういう思いをしているのは自分だけではないと思えたことはありがたかったです。働きながら同じように頑張っている人たちがいるというのはとても励みになるので、この学校を選んでよかったと思っています。

Q どのような看護職者を目指していますか

A 目の前で苦しんでいる人に自分ができる最善のことが尽くせる人になりたいです。私は今、介護士なので、施設にいる方への看護業務はできず、苦しんでいる方に何もしてあげられないことが辛く思います。今後は看護師資格を取得し、介護だけでなく看護面でのサポートもして、施設にいる方の力になりたいです。

介護と学業の両立の中で見えてきたもの

63回生
荒川 千巻 さん

Q 看護職を目指したきっかけを教えてください

A 家に認知症の祖母がいるのですが、5～6年程前から症状が進行しはじめてしまい、自分にも何かできないかと思いました。そうして、認知症に対する知識や疾患に対する知識を学びたいと考えたことがきっかけです。

Q 入学するにあたって、心配ごとはありましたか

A はい、ありました。社会人からのスタートだったので、学校に馴染めるかや学習面でついていけるか、祖母の介護との両立はできるのかなど、いろいろな不安はありました。

Q 入学後、変化したことがあればお聞かせください

A 入学してみると社会人の方も多かったのでほっとしました。授業でいろいろなことを学びはじめてから、認知症に対する心構えや応対のしかたなど、さまざまなことが理解できるようになって、以前よりも祖母に対する対応がスムーズになったと思います。今になって勉強することが楽しいと思えるようになってきたので、進学して看護師の資格を取りたいと思っています。

Q どのような看護職者を目指していますか

A 患者さんの疾患だけでなく、精神面に寄り添い、患者さんに安心して身を委ねていただけるような看護師になりたいです。

普通科の高校から看護の道へ

64回生
クライソンセットワウト さん
所属：三岳荘小松崎病院

Q 看護職を目指したきっかけを教えてください

A 僕は母国がタイなのですが、小さい頃、祖父がタイの病院に病気で入院していた時、不安がっている僕ら家族に対し、看護師の方が励みになる言葉をたくさんかけてくださいました。その時、患者や患者の家族に寄り添って、不安を和らげることができるのかと感動したことがきっかけで看護職を目指そうと思いました。

Q 入学するにあたって、心配ごとはありましたか

A はい、ありました。僕は普通科の高校からこの学校に通うことにしたので、看護の勉強をしてきたわけではなく、学校の授業についていけるかとても不安でした。男性という立場も学校生活に馴染めるか心配でしたし、働きながら学ぶことも自分にできるか不安でしたが、クラスの友達の大半が働きながら学んでいることや抱える悩みが共通していたので打ち解けやすかったです。

Q 当学院を選んでよかったことを教えてください

A 今勤めている小松崎病院は、ここの卒業生の方が多いのですが、男性の看護師の方も多いですし、先輩方が皆やさしいです。僕が教わっている師長もここの卒業生ということで、抱えている悩みなども理解してくださいますし、学校のことについても的確なアドバイスをいただけるので、とてもありがたいです。そういうとき、この学校を選んでよかったと思います。

Q どのような看護職者を目指していますか

A 小さい頃に出会った看護師の方のように、自分も誰かの心の支えになれるような看護師になりたいです。